

Super GT Rd6 Autopolis Race Report

2021/10/23-24



General Comments:

今大会も菅生に引き続き、GT500車両で初めて走る事となったオートポリス。初めてであろうと、やる事はかわらない。と自分に言い聞かせ、ここまで準備してきた事をしっかりと出し切る様に集中してこのオートポリス戦に挑みました。

Qualify : 11

オートポリスは走り始めの路面コンディションが非常に悪く、タイヤ選択やセットアップを進めて行くタイミング等を慎重、且つ俊敏に判断して行かなくてはなりません。それもドライバーにとっては面白い要素の一つですし、路面コンディションによって、タイムの変動も大きいので、観て頂いているスポンサーの皆様やファンの皆さんにとっても面白い見所だと思います。

今回のQF1は松下選手が担当。僕自身もチームも彼がQF1を突破してくれると信じて待っていましたが、かなりの僅差で突破ならず。決勝に向けては、ピット作戦等でポジションを上げて、しっかりとポイントを取りに行きたいところです。

300km Race : Finished P1

決勝レースのスタート担当は、いつも通り松下選手。チームも僕らも松下選手のスタートダッシュには、非常に心強く思っており、絶対にポジションを落として帰ってきませんし、いくつかポジションを上げて帰ってくる事の方が多いです。今回のスタートでも、1つポジションを上げてホームストレートへ戻って来てくれました。その後もSC解除後に、また1つポジションを上げて、1st Stint終わりには7番手まで上がっていました。

そして、自身に交代。やる気満々でピットアウトしたのですが、あまりにもポジションを落としてしまっていたので、正直驚きました。感覚的には11か12番手？だったと思います。考えてても仕方ないので、直ぐに追い上げモードにマインドを切り替え、とにかく前しか見ていませんでした。沢山のライバル達と激しいバトルも出来ましたし、最後までチームも無線で応援し続けてくれて、7位でチェッカーを受ける事となりました。



！もう少し上を狙えた！次だ！

スポンサーの皆様、オートポリス戦も沢山応援して頂き有難うございました！今大会は7位でフィニッシュし貴重なポイントを持ち換えることが出来ました。

決勝レースでは、若干トラブルを抱えてしまい最後まで100%の状態ではありませんでした。

それでも、とにかく最後まで限界を探っていく様に自分に鞭を打って攻め続け、最後まで出し切るレースは出来たと思います。

また、GT500車両で初のオートポリスは色々と驚きが沢山ありました。とにかくコンディションの変化で車の動きが違う。さらにGT300のトラフィック処理が非常に難しかったです。これもまた貴重な経験。

次に向けて沢山努力して戦っていきます。引き続き、応援を宜しくお願いします！

